

たのしい たのしい 船穂校♪

倉敷市立船穂小学校 横山文朗

美しい学校

3月末に6年ぶりに本校に来て、シャッター倉庫の角を曲がったときに、玄関のサクラソウやパンジーが目にとびこんできました。教頭先生や校務員の先生や栽培担当の先生ががんばっているのだらうと思いました。玄関に花が咲いていると、来校者に温かく迎えているようにも思えます。

めざす学校像に「美しい学校」という言葉があります。新築の校舎は当然美しいし、教育委員会の施設改修が行き届いていれば、美しく保たれているでしょう。けれども、めざす学校像が委員会のみだとは考えにくいと思います。

わたしは「美しい学校」を次のように考えました。

- ①季節の花が咲いている。植栽が手入れされている。
- ②営繕が行き届いている。廊下や教室にワックスがかかっている。
- ③教室や職員室など整理整頓されている。
- ④掲示物が定期的に替えられ、子どもたちの作品が大切にされている。
- ⑤掃除が行き届いている。雑草が生えていない。

施設設備の維持は、設置者である倉敷市・倉敷市教育委員会がすべきで、われわれ教員が専らに行うものではありません。けれども、市内に百校からの小・中学校があるのだから、教育委員会に願い出て待っているだけでは学校を美しく保つことはできません。

小学校には、校舎と運動場があり、児童と教職員がいて、授業をはじめとした教育活動が展開されています。施設と人と実践がそろって小学校だとも言えます。だから、職員作業で遊具のペンキ塗りをしたことは、遊具がきれいになったこと以上に素晴らしいことだと思います。学校を愛する気持ちなしに炎天下にペンキを塗ることはできないと思うから、とてもしんどかったけれども、一緒に作業をしていてとてもうれしかったです。

6日の職員会議では、この①から⑤の中で⑤について話し合っしてほしいと思っています。「倉敷市で一番清掃ができる子」にするために、どのような取り組みをするとよいか話し合うことが会議のねらいです。

清掃の仕方をきちんと教えて、責任範疇をはっきりさせて、サボっている子を厳しく指導すれば、見かけはよく清掃をしているようになります。けれども、このことだけでは、長続きしないと思います。

6日の話し合いによって、先生方のベクトルがそろい、目的達成のための手段がシャープに絞られることを願っています。

